

犬&猫との出会いと関わり方

# 動物たちに愛の手を

ベトナムでは、日本以上に野良犬&猫を見かける機会が多い。当地でペットを飼いたい、動物と触れ合いたいと考えるなら、購入ではなく“保護”という選択肢を加えてみてほしい。不遇な環境に置かれている動物たちに、自分ができることはあるはずだ。

# この瞬間、助けを求めている動物がいる 教えて! ベトナムの動物保護事情

ベトナムではどれくらいの数の動物が保護されているのか。また、食犬肉、食猫肉の文化があるベトナムの人々は、動物保護に対してどのような意識でいるのか。動物の保護活動に携わるベトナム人と日本人に現状を教えてもらった。



ペット動物保護研究センター  
Center of Pet Animal Protections and Studies (CPAPS)  
副代表  
トゥー・トゥー・ハー (Thu Thu Ha) さん  
<http://cpapsvn.org>

## スタッフはボランティア、運営費は募金から 施設で最期を迎える悲しい現実も

CPAPSはハノイで設立された、ベトナムで最も規模の大きい動物保護団体の1つです。当団体が1年で救助する犬や猫の数は約1000匹。近年、この数字は変わっていませんが、そのほとんどが道端で拾われたケースで、食犬肉、食猫肉のために出荷された犬や猫などの保護は含まれていません。もしすべてを引き取ってしまうと動物の数が多くなりすぎて、管理が困難になってしまいます。

動物は保護されてから施設に入るまで、必ず提携先の動物病院でワクチン接種と去勢手術を行います。動物の治療費や施設の管理費は、募金や寄付金などで賄っています。

施設のスタッフはボランティアで、そのほとんどが大学生。1人につき週2回ほど施設を訪れてもらい、午前は2~3人、午後は4~5人で動物の世話にあたります。

保護動物の中には病気を患っていたり、事故で大けがを負っていたりすることがあります。悲しいことに、そういった子たちは里親が見つかりにくく、施設で最期を迎えることもしばしば。施設のスタッフはもちろん愛情をもって世話をしますが、家族のような関係だとは言えないです。無責任な飼い主に捨てられず、しっかりと愛情を持って育てられていればこんな最期を迎えることはなかったのに、と辛く感じています。



アニマルレスキュー&ケア  
Animal Rescue & Care (ARC)  
共同設立者  
ニューエル澤乃さん  
<http://arcpets.com>

## 「犬や猫は家畜」という根強い文化 若者を中心に芽生え始めた家族としての愛情

アーク (ARC) はホーチミン市2区を中心に、動物の保護活動を行っています。その周辺だけでも2016年は犬と猫合わせて225匹、2017年は243匹を保護しました。数としては猫が7割と多いですね。近年は動物保護施設が徐々に増えてきていますが、団体同士の横の繋がりはほとんどないので、今後どのように協力関係を築いていくかを考えなければと感じています。

ベトナムは文化的に犬や猫を家畜として認識している人が多く、ペットとして飼っていても元々は家畜だからと名前を付けない人が未だにいます。しかし若者を中心に、犬や猫は友達、という考えが広がっています。コ

ミュニティサイト (SNS) などを通してかわいそうな動物の写真が拡散されることもあり、動物保護への意識が高まっているのでしょう。

動物にだって感情があれば知能もある。声なき存在だからこそ、人間が守るべきなんです。ただ、動物を捨てて施設に預けることが保護活動だと勘違いしている人が多いです。動物の治療を行い、生後間もないのならある程度の歳まで育て、その後自身で引き取るか、里親を探して引き渡すまでが保護。拾った動物を施設前に置いて去る人が時々いますが、動物を拾ったなら最後まで責任を持って面倒を見てほしいですね。



岩佐雅裕さん

動物保護団体アークから  
モモちゃんをアダプトした

# あなたの支援で救える命がある 動物を保護した人たちの声

各施設に保護された動物たちは、全匹ではないものの、その多くが国内外の協力者に引き取られていくという。ベトナムで動物の保護に協力した日本人とアメリカ人のもとを訪れ、動物を引き取ろうと思ったきっかけや、動物のその後の様子などを聞いた。

## モモが家族の一員となったことで、 家族の絆がより強く、温かくなった気がします。

もともと私の妻や3人の子どもたちが犬を飼いたいと言っていて、もし飼うなら保護犬をアダプトしたいと考えていました。しかし我が家は転勤族なので、動物を飼うのは難しいと考えていました。

ホーチミン市で暮らし始めて1年後に、動物保護団体のアーク (ARC) の存在を知りました。同団体では保護された動物の散歩を手伝うドッグウォークのボランティアを募集しており、犬は飼えないけれど散歩のお手伝いなら、と思って参加しました。

ドッグウォークはとても楽しく、新

鮮な経験となりました。参加して知ったのは、犬を連れて海外を転動したり日本へ帰任する人が多くいるという事実。それから家族と相談し、モモを家族として迎え入れることを決めました。

モモは食用となる寸前でアークに保護されました。当時は重い皮膚病で苦しんでいたそうです。まだ完治はしていませんが、今はとても元気になり、散歩にも毎日行っています。最初は人間に不信感を持っていて距離を取ることが多かったのですが、今では一緒に寝るまでになりました。

## 猫は愛くるしく、人に癒しを与えてくれる どんな猫であっても、みんなで保護してほしい

ベトナムで猫の保護を始めて7年になります。アークと協力し、猫を保護した後は次の新しい飼い主が見つかるまで一時的に預かり、人と良い関係が築けるように育てる「フォスター / Foster」として活動しています。

私たちは外国人なので、いつまでベトナムにいるかわからない状態です。だから、より多くの命を救いたい、猫を飼うより保護することを選びました。これまでに46匹を預かってきました。

数ヶ月以内に新しい飼い主が見つかることがほとんどですが、盲目のジプシーと、仲良しのピグシーは一番長く、ここに1年半くらいいますね。この子たちは既に大人で、

仲が良いので2匹合わせて引き取ってほしいと考えているため、なかなか飼い主が見つかりません。特にジプシーは引き取った時から盲目だったので、毎日目をきれいにしてあげるなど、格別の注意を払わないといけません。

悲しいことに、ベトナムでは虐待される猫や犬が多くいると聞きます。これからも猫の保護を続けていきたいと思っています。



## 保護した猫を一旦預かり 人を愛せるように育てる

ソーレン&オーブリー・スティーヴンス  
(Soren & Aubrey Stevens) さん



# あなたと小さな命を繋ぐ 犬&猫と出会える動物保護施設

保護動物を引き取りたい人は、ここで紹介する施設・団体に問い合わせてみよう。基本的に英語で対応してくれるところが多い。大切な命を預かる立場となるため、引き取りを決めたら必ず最期まで責任を持って世話をしよう。中途半端な気持ちでの申し出は禁物だ。



HANOI

## ペット動物保護研究センター

動物の生活環境に関する研究を重ね  
科学技術省の認可を取得

2012年に設立。当初はボランティア団体だったが、動物の救助や生活環境を守るための科学技術研究を実施してきた結果、2017年にベトナム科学技術団体連盟から動物保護の活動の認定を受けた。犬や猫の誘拐・食肉の反対キャンペーンや、動物病院と協力して毎月無料の予防接種なども行う。保護したい動物を見つけたら、連絡すれば必要な手順を教えてくれる。

2012年に設立。当初はボランティア団体だったが、動物の救助や生活環境を守るための科学技術研究を実施してきた結果、2017年にベトナム科学技術団体連盟から動物保護の活動の認定を受けた。犬や猫の誘拐・食肉の反対キャンペーンや、動物病院と協力して毎月無料の予防接種なども行う。保護したい動物を見つけたら、連絡すれば必要な手順を教えてくれる。

**CPAPS (Center of Pet Animal Protections and Studies)**  
 17, Ngach 80, 14 Nhan Hoa St., Thanh Xuan Dist., Hanoi  
 0123 452 4650 (ホットライン、英語可)  
 @hanoi.petrescue.cpaps.vn.org  
 http://cpaps.vn.org



日本語が話せるボランティアスタッフが在籍

## HANOI ハノイペットアダプション

犬、猫のほか、鳥やハムスターも保護  
面接は日本語でのサポートあり

2015年に設立。動物の引き取りを希望する人は、まずはフェイスブックから連絡を。スタッフが面接を行い、動物を育てる財力があるか、自宅は動物が十分に暮らせる広さか、予防接種と去勢手術を行う約束ができるかなどのチェックが入る。問題なしとの判断が下れば、少々の募金を払った上で引き取ることができる。

**Hanoi Pet Adoption**  
 非公開、要問い合わせ 0169 320 1068 (英語可)  
 hanoi.petadoption@gmail.com @hanoi.petadoption  
 http://hanoi.petadoption.com



今なら日本人のボランティアスタッフが在籍しており、希望者は日本語で面接が受けられる



## ダナン動物サポート

ダナンで数少ない保護施設の1つ  
保護のポリシーは「自らの行動」

2013年に設立。動物の救助、フォスター、メディア、翻訳などのチームに分かれて活動。動物を助けるにはまず自らが行動してほしいとの思いで、保護のためのホットラインは設けていない。動物の引き取り希望者には、スタッフが自宅に赴き面接を行う。愛情と責任を持ち、家族として接するという保証書にサインすれば引き取れる。

約90人のボランティアスタッフが在籍し、面接は英語での対応が可能

**Cuu Tro Dong Vat Da Nang**  
 非公開、要問い合わせ  
 @CuuTroDongVatDaNang



HCMC

## アニマルレスキュー&ケア(アーク)

ホーチミン市2区を拠点に  
日本人らが立ち上げた施設・団体

2011年にニューエル澤乃さんが中心となって設立した。保護施設はサイゴンペットクリニックの敷地内に併設されている。獣医ギア(Nghia)先生の協力により、保護した動物の治療や予防注射、入院などの費用は、引き取ることを基本条件に無料で行ってくれる。保護された犬や猫はフェイスブックなどで紹介。引き取り希望者はメールで連絡を。

**ARC (Animal Rescue & Care)**  
 Saigon Pet Clinic, 33, 41 St., Thao Dien Ward, Dist. 2, HCMC  
 arcpets@gmail.com (日本語可)  
 @arcpetsvietnam  
 http://arcpets.com



保護された犬の散歩(ドッグウォーク)を手伝うボランティアたち



## サイゴンタイム

保護犬は3年で約400匹と圧倒的病気の犬の看病も実施

2015年に設立。保護と引き渡しに加え、病気の犬の看病も行い、猫も保護されている。引き取り希望者は、まず施設を訪問して直接会ってもらうことが条件。さらにスタッフが自宅を訪問し、引き取り先として問題がないかを確認する。保護したい動物を見つけた時は、その動物の写真を送れば、スタッフが状況を判断した上で動物を迎えに来てくれる。

**Sai Gon Time**  
 非公開、要問い合わせ  
 090 661 8100 (英語可)  
 vtv154@gmail.com  
 @savesgt

HCMC

ボランティアの固定メンバーは3人と少人数。面接は英語での対応が可能



# 犬&猫が、あなたを待っている 保護された動物と触れ合えるカフェ

動物を引き取りたい思いはあっても、自宅がペット不可などの理由から決断が難しい人は、動物カフェを訪れてみよう。保護動物を中心に扱うところや、数匹だけが保護した動物もいる店舗もあり、交流を深めて動物たちの傷ついた心を癒す力になってほしい。



メオルム HCMC

## ビジネス感覚の動物取引は悲痛 直接触れ合い動物に見合うオーナーを

保護された動物を次の飼い主が見つかるまで引き取り、彼らと触れ合うこともできるように開放したカフェ。保護動物の引き取りや引き渡しにおいて、物を無料で交換するようなやり取りに心苦しく感じていたミン(Minh)さんが、2017年4月に開業した。ここでは、様々な事情によりやってきた犬や猫が複数暮らしている。

出産は難しいかもしれないと獣医から言われた妊娠中の猫がいる。市場を放浪中に人から思いきり殴られて以来、餌を目の前にしても餌と皿の区別がつかなくなるといった障害が脳に残ってしまった。保護された直後は人を恐れ友達猫もできなかったが、ミンさんらの愛情に触れ、現在は仲間と一緒に仲良く遊ぶ姿が見られるなど落ち着いた様子を見せている。

動物の治療が難しい山奥で暮らし、病気を患いながらも治療を受けられずにいた犬も引き取った。皮膚病による痒みから何度も何度も掻くため皮膚が削れ、さらに肺に水が溜まっている。地元の人々が犬の苦しそうな姿を見るに堪えかねて、カフェへの引き渡しに協力してくれた。犬は無事獣医のもとを訪れることができ、現在治療中だ。

ミンさんは、心の底から動物を引き取りたいと考え大切に育ててくれそうだと信頼できる人に限って引き渡しを認めている。「帰国の可能性も考慮し、本当に責任を持って愛情を注いでくれるのなら」と外国人への引き渡しにも対応してくれる。また、動物と直接会って考えたい、または触れ合うだけでも協力したいという人も歓迎だ。



山奥で暮らしていた皮膚病を患った犬。地元の人々は犬との別れ際に大泣きしていたという



**Meo Lum**  
 6780/1C Nguyen Kiem St.,  
 Go Vap Dist., HCMC  
 ☎ 093 934 6321 (英語可)  
 🕒 9:00 ~ 21:30  
 🕒 21:00  
 📍 @alcpetcafe



脳に障害が残る妊娠中の猫。歩く際も頭は常に揺れており、障害の深刻さが伝わってくる

ドリンク(1万VND〜)や即席麺「ミーゴイ / My Goi」(2万VND)など軽食が注文できる。動物たちは、新しいオーナーに名付けてもらいたいとの思いで、名前は付けられていない

## 血統書付きも雑種も同じ犬 動物を愛する家庭環境を整えて

2017年3月に開業した犬カフェ。犬肉店で引き取ったサモエドのリッチ君は当時、やせ細って全身傷だらけだった。血統書付きのため高い価格を提示されたが、見るに耐えられなかったカフェのオーナーが買い取った。最初は精神不安定な様子だったが、徐々に落ち着き元気な姿に。後にサモエドのサニーちゃんと恋に落ち、8匹の父になった。



リッドカフェ DA NANG

**Ritdo Cafe**  
 66 Tran Binh Trong St.,  
 Hai Chau Dist., Da Nang  
 ☎ 094 847 3718 / 0120 616 2667  
 🕒 7:00 ~ 22:30  
 🕒 22:30  
 📍 @RitdoDN

ドリンク価格は1万2000VND ~ 4万5000VND。「特製3色ソーダ / Soda 3 Tang Ritdo」と「アロエ茶 / Tra Nha Dam」がオリジナルメニュー。入場のみ場合は1人1万VND



公園で元気に遊ぶリッチ君(写真右の白い犬)。今では人に抱きしめられたり撫でられたりするの大好き

## ケンハウス HCMC



人気メニューの「ピーチティー / Peach Tea」(4万8000VND)や「抹茶 / Maccha」(5万8000VND)などを飲みながら、犬たちと遊ぼう

**Ken House**  
 231 Pham Van Hai St., Ward 5,  
 Tan Binh Dist., HCMC  
 ☎ 094 808 0854 / 090 945 7743  
 🕒 9:00 ~ 22:00  
 🕒 22:00  
 📍 @worldofalaskamalamute



大人しくて親しみやすいベン君。他の犬たちと一緒に楽しく暮らしている

## 足に異変のあった犬が元気な姿に 今後はもっと保護に協力したい

ペット商品の販売、犬ホテルやスパなどを併設した犬カフェ。原因は不明だが元の飼い主のところから右後ろ脚が動かなくなってしまったアラスカンマラミュートのベン君など、同カフェのオーナーに引き取られた犬が数匹いる。ベン君は引き取られた後は愛情を持って育てられ、1年後に足が回復。現在は普通に歩けるようになった。



# 気持ちだけでなく、知識も大切! 保護動物の留意点

動物を保護した、引き取ったからといって安心してはいけません。その時、その後で注意しておくべき点がある。ハanoiにある動物病院「ガイアペッツクリニック&リゾート」の獣医で、山口大学獣医学博士課程を修了し日本語も堪能なリン先生がアドバイスをくれた。



ガイアペッツクリニック&リゾート  
Gaia Pets Clinic & Resort

ジェネラルダイレクター・共同創設者  
ブイ・カイン・リン  
(Bui Khanh Linh) 先生

<http://gaia.vn>

## PROFILE

日本人の仕事に対する姿勢やマナーに感銘を受け、夫のロン(Long)先生とともに日本への留学を決意。獣医学博士課程修了後の2012年に、ハanoiで同獣医院を創設した。動物の救急、手術、カウンセリングなど各種治療サービスほか、ペットホテルの運営やグルーミングサービスも提供している

動物を保護したら、  
まずは病院か  
保護施設へ連れてって!

道端などにいる動物には寄生虫が潜んでいたり、狂犬病に感染していたり、皮膚の病気を持っていたりと本当に危険性が高いです。当院の場合、一部の保護施設と提携し、保護動物の場合は治療費やワクチン接種料を半額にするなど協力関係にあります。動物を保護したら専門の施設に連絡して引き取ってもらうか、自身で病院に連れていきましょう。



健康診断と  
ワクチン接種は  
必ず行って!

病気になってから治療するよりも、予防することが大切です。施設で動物を引き取った場合でも、念のため健康診断とワクチンを接種済みかの確認は行っておきましょう。可能であれば去勢をし、マイクロチップを入れておけば帰国時に連れて帰りたい時も安心です。

当院の場合、基本的な健康診断で20万VND、病気予防のための3種のワクチン接種、狂犬病のワクチン接種、バラサイトクレンズ(寄生虫駆除)の合計が100万VNDです。日本人には10%割引のサービスを常時行っているため、気軽にお越しください。

少なくとも  
1年に1回は  
健康診断に訪れて!

ベトナムは日本と異なり不衛生な部分が多く、散歩時などは道端の腐った食べ物、蚊など、常に危険と隣り合わせです。動物がいつの間にか何かに感染していて、家で人間が触ったりして病気がうつるといったケースがよくあります。動物の健康は、オーナーの健康を守ることに繋がります。様子がおかしくなってからではなく、定期的に健康診断に訪れましょう。



## 日本人におすすめの動物病院

日本人獣医が在籍、あるいは日本語が英語が通じる、日本人が通いやすい動物病院を紹介。万が一に備えて、事前に問い合わせで詳細を把握しておくか、健診などで定期的に訪れて「かかりつけ医」を決めておこう。

### アスヴェリス動物病院 Asvelis Veterinary Hospital

2, Ngo 67, To Ngoc Van St.,  
Tay Ho Dist., Hanoi  
(024) 3718 2779 (英語可)  
(月~金曜) 8:30 ~ 12:00 / 13:30 ~ 18:00,  
(土曜) 8:30 ~ 12:00 / 13:30 ~ 17:00  
17:00 日曜  
[www.vietnampetservices.com](http://www.vietnampetservices.com)

HANOI

### ガイアペッツクリニック&リゾート Gaia Pets Clinic & Resort

38, Ngo 1, F361 An Duong St., Tay Ho Dist., Hanoi  
(024) 3795 6956 / 094 666 1080 (日本語・英語可)  
8:00 ~ 12:00 / 13:30 ~ 22:00  
gaia271@gmail.com  
<http://gaia.vn>

HANOI

### ニューペッツ ホスピタル&スパ1 New Pets Hospital & Spa 1

53 Dang Dung St., Dist. 1, HCMC  
(028) 6269 3939 (日本語・英語可)  
8:00 ~ 19:00 (救急24時間)  
18:30 不定  
<http://newpethospital.com.vn>  
※ほか市内に1ヶ所

HCMC

### サイゴンペットクリニック Saigon Pet Clinic

33, 41 St., Thao Dien Ward,  
Dist. 2, HCMC  
(028) 3519 4182  
093 903 6637 (英語可)  
8:00 ~ 11:30 / 14:30 ~ 17:30  
不規則 不定  
<http://saigonpethospital.com>

HCMC

### 佐々木動物病院 Sasaki Animal Hospital

38-40-42 Nguyen Thi Thap St.,  
Dist. 7, HCMC  
(028) 2253 1179 (日本語可)  
9:00 ~ 19:00  
19:00 不定  
<http://sasakihospital.com>

HCMC

## 日本人向けボランティア募集情報

どれもボランティアスタッフは歓迎しているが、基本的に無給であり、帰国や仕事が忙しくなったなどの理由で中途半端に辞める人は少なくない。生半可な気持ちではなく、長期にわたってサポートする自信がある人が求められている。

### 動物保護研究センター

(Center of Pet Animal  
Protections and Studies/CPAPS)

#### 動物の救助活動スタッフ

国籍問わず歓迎。個人の能力により担当振り分け。動物に関する専門知識がある人歓迎  
@hanoi.petrescue.cpaps.vn.org  
(英語可)

HANOI

### ハノイペットアダプション Hanoi Pet Adoption

**施設管理スタッフ**  
動物の世話や施設の掃除など。興味があれば国籍問わず歓迎

**フォスター(一時預かり里親)募集中**  
hanoi.petadoption@gmail.com  
(英語可)



HCMC

### アーク/ARC (Animal Rescue & Care)

**ドッグウォーク**  
毎日8:30 ~ 16:30 ~、約30分の犬の散歩。12歳以上であれば自由参加

**キャットハウス**  
猫の世話、掃除など。午前シフト、午後シフトがあり、週1回通ってもらう

**フォスター(一時預かり里親)募集中**  
arcpets@gmail.com (日本語可)